

# 令和5年度 冬季巡回型 めむろ未来☆ミーティング



## 1 開 会

## 2 町長あいさつ

## 3 町からの説明事項

- ・町公共施設再配置構想について
- ・新嵐山スカイパークの在り方について

資料 1-1,1-2

資料 2-1,2-2,2-3

## 4 意見交換

## 5 閉 会

参加者ご意見フォーム

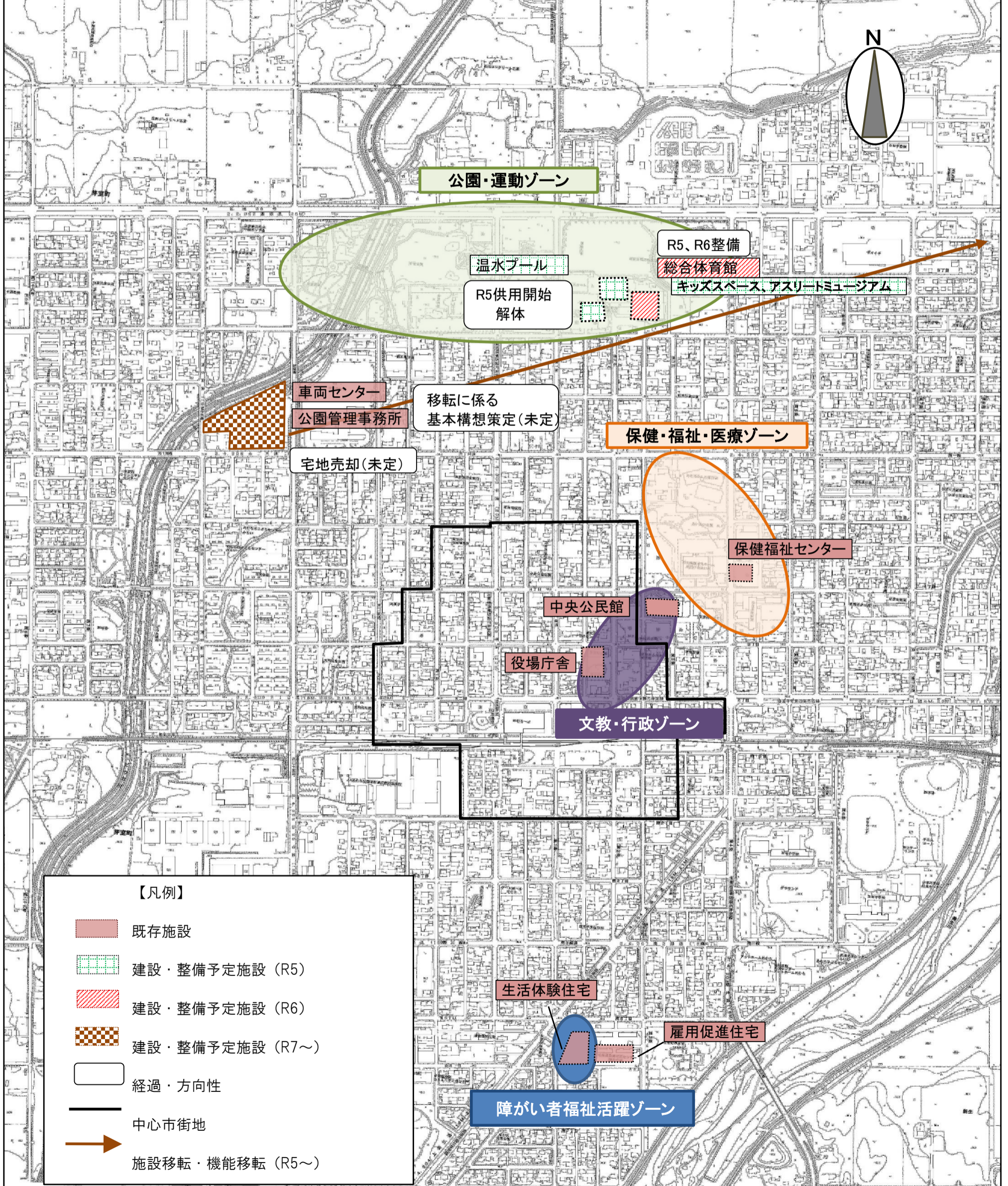


1月13日(土)まで  
入力を承ります

# 市街地公共施設等再配置構想

《令和6年1月5日》

・令和6年度実行計画により作成したものです。  
 ・市街地の公共施設等のうち、近年建設した施設及び取り壊し・用途変更・移転・新築等を計画しているものを記載しています。





## 新嵐山スカイパークの在り方について

### 1 新嵐山スカイパークの今後に向けた考え方

令和5年10月の新嵐山スカイパークの営業休止以降、めむろ☆未来ミーティングやLINE等を活用したアンケート、新嵐山スカイパークの「存続・今後」を考えるワークショップ、ホットボイス等により、町民の皆様や町内外の利用者の方から多くのご意見をいただいています。

これらのご意見の多くが新嵐山スカイパークの再開を望むものであり、町では貴重な財産である新嵐山スカイパークの再生に向け、町民の皆様や事業者の皆様、町内外の利用者の皆様の意見も参考に、新嵐山スカイパークの再生に取り組む考えです。

### 2 新嵐山スカイパーク再生に向けたイメージ

	項目	内容	令和5年度		令和6年度	令和7年度以降
			令和5年10月～令和6年1月	令和6年2月		
1	あり方の骨格 (必要な機能・設備)	今後の新嵐山スカイパークに必要な機能や設備のこと (例: スキー場、キャンプ場、宿舎、レストラン)	・めむろ☆未来ミーティング(10月) ・アンケート(LINE)(11月) ・ワークショップ(12月) ・ホットボイス ・めむろ☆未来ミーティング(1月)	確定		
2	グランドデザイン (全体的な構想)	基本理念、機能、規模、 場所(配置)、工程			策定	
3	基本構想・基本計画	機能性、周辺環境との連携、 概算工事費、施設等の構造、レイアウト				策定
4	実施設計・工事施工 (工事を伴う場合)	工事施工に向けたデザイン、設計、工事 費の詳細積算、工事着工				策定・工事施工
5	一部オープン	町民の皆さんからの要望の多い 機能等は可能な限り早期再開			スキー場等を想定	
6	グランドオープン	1～5の取組による 新たな新嵐山スカイパークのオープン				グランドオープン

※展望台については令和6年度も利用可能です。

※新嵐山スカイパーク内の公園機能については検討中です。

## 新嵐山スカイパークの「存続・今後」を考えるワークショップ開催！

12月9日及び11日、今後の新嵐山スカイパークにおける方向性の参考にさせていただくことを目的として、新嵐山スカイパークの「存続・今後」を考えるワークショップを開催しました。ワークショップは計29名の方にご参加いただき、新嵐山スカイパークの機能や設備についての考えと、その理由や背景などを、「憩いの場」と「観光振興」の両面を意識して、それぞれじっくりとお話ししていただきました。いただいた意見の主な内容を抜粋、要約して掲載します。



機能・設備	意見
宿舎	ターゲットの絞り込みが必要。スポーツ合宿などでの活用も考えられる。老朽化しており、需要もないため不要。
温浴施設	温泉やサウナなどを設置し、滞在型の観光地になってほしい。町内に温浴施設がないため必要。
レストラン	スキー客が休憩時の憩いの場としてあった方が良い。芽室の農産物を使ったピザの提供。冬季営業のみで良い。
宴会場	大きな宴会場は不要で、小さな宴会場はあっても良い。町内会でもイベントが減っているため無くても良い。宿泊宴会はもう無い。
売店	お土産や宿泊客のアメニティ販売として必要。スキー客への軽食の販売。町内の特産品や農産物を販売してはどうか。
キャンプ場	まちなかから数分で行けるキャンプ場は魅力的であり必要。ニーズはある。川沿いの旧キャンプ場も人気があったので再整備してはどうか。
グランピング	縮小し、ターゲットを絞った方が魅力が際立つ。グランピングより宿舎を整備すべき。グランピングは今後廃れていくと思う。
展望台	芽室町の代名詞。情報発信を積極的に行い、PRしていくべき。展望台に売店やカフェなどがあると良い。コーヒーを飲みながらのんびりできる環境づくり。
ドッグラン	人気があり、広いところで自由に遊ばせられるため必要。オープンカフェを設置してはどうか。ドッグランとBBQなどの食事する場所は離して設置すべき。
スキー場	子どもたちの教育の一つであり必要。近隣からも来やすい庶民的なスキー場であり必要。雪が降らない時があり、経営が安定しない。利用料の見直しが必要。
そりコース	子育て世帯には必須。安全対策をしっかりして設置してほしい。そりコースに登れるリフトのようなものがあると良い。
夏のアクティビティ	パークゴルフ場は道外の方が喜んでた。有料でも良いのでは。18ホールにすべき。林道をマウンテンバイクコースに整備してはどうか。軽登山ができるとう良い。
冬のアクティビティ	お金をかけなくても子どもが遊べるようになると良い。ファットバイクのコースを整備し、レンタルなどにより気軽に体験できるようになると良い。
新たな機能の提案	道の駅のような機能。24時間トイレの設置。ホーストレッキングなどの体験。音楽フェスの開催。川までのアプローチを整備し川に親しめる環境整備。子ども向け大型遊具設置。

## 特集 新嵐山スカイパークのこれから

### 再生に向けた取組

新嵐山スカイパークの営業休止以降、町民の皆様や町外利用者の方から再開に向けた要望やご意見を多くいただいています。町では貴重な財産である新嵐山スカイパークの再生に向け、町民の皆様や事業者の皆様、町内外の利用者の皆様の意見も参考に次々とおり、令和6年度に新しい新嵐山スカイパークのグランドデザイン(全体的な構想)を策定することとし、12月7日に開催された町議会新嵐山スカイパーク経営改革調査特別委員会に説明しました。

### 令和6年2月末を目途に、新嵐山スカイパークのあり方の骨格を確定

いただいているホットボイス、10月に開催しためむろ☆未来ミーティングの意見、LINE等で募集した意見、12月に開催したワークショップの意見、1月に実施する巡回型めむろ☆未来ミーティングの意見などを参考にさせていただきます。令和6年2月末を目途に、新嵐山スカイパークのあり方の骨格(必要な機能や設備)を定めていきたいと考えています。

### グランドデザイン(全体的な構想)の策定

新嵐山スカイパークのあり方の骨格をもとに、令和6年度にグランドデザインを策定します。また、グランドデザインの策定にあたっては、

国内有数のアウトドアメーカーで、本町とまちづくりに関する包括連携協定を締結している株式会社モンベルと協議を進めていきます。なお、グランドデザイン策定後の担い手が株式会社モンベルと決定したわけではありません。

### 令和6年1月～3月までの施設内の利用について

めむろ新嵐山株式会社株式会社の破産申立による債権整理によって、令和6年1月末まで敷地への立入りが出来ない見込みです。また、スキー場の運営に必要な造成作業(圧雪車や人工降雪機による作業)ができず、表層雪崩の危険性やトイレ・休憩場所の確保ができないこと、スキーシーズンの期間を考慮しますと、令和5年度中のスキー場の開設は困難であることをご理解ください。そりコースの開放も検討していますが、スキーと同様に安全に楽しんでいただけない点がクリアされない限り、開放は難しいと考えております。

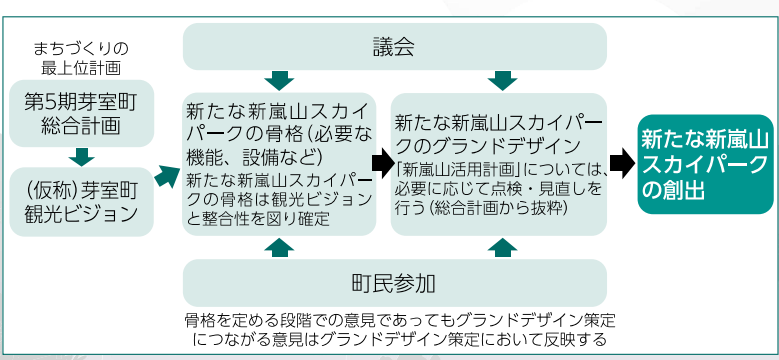
### 令和6年4月以降の施設内の利用について

キャンプ場、ドッグラン、宿舎、温浴施設などの運営は、管理会社が決定していないため、未定です。一方で、冬のスキー場は令和6年度から

ご利用いただけるよう協議を進めます。(展望台は指定管理者の管理外のため、令和6年度もこれまでどおり利用いただけます。)

### 町民意見の募集について

令和6年度は、新嵐山スカイパーク全体のグランドデザインを策定予定であり、素案等が出来る段階で町民の皆様の見解を募集する考えです。また、それ以外にもお気づきの点などがございましたら、随時ホットボイスで募集しますので、ご意見をお寄せください。



▲10月開催めむろ未来ミーティング  
意見及び結果はこちら  
▲これからの新嵐山に対する  
ご意見募集結果はこちら

魅力創造課 ☎62-9736  
shinarashiyama@memuro.net

# めむろ新嵐山株式会社への支援金町議会でも否決

## 新嵐山スカイパークは10月11日から休業

9月21日に開かれた芽室町議会定例会で、町が提案した第三セクターめむろ新嵐山株式会社への支援金5,178万8千円の補正予算案は否決となりました。賛成4人、反対11人という結果でした。

町が第三セクターの清算を公表して以降、新嵐山スカイパーク経営改革調査特別委員会で4回の調査が行われましたが、支援金の支出は認められませんでした。

### 資金繰りひっ迫解消のための支援金提案

新嵐山スカイパークを運営する第三セクター「めむろ新嵐山株式会社(以下「会社」)」は、令和元年度から3期連続赤字計上。スキー利用者や宿泊客が年々減少したことにより売上が減少を辿り、令和3年度決算から債務超過に陥りました。令和4年度はかろうじて黒字になったものの、令和5年度になっても収支は好転せず、資金繰りがひっ迫し、会社の運転資金は底を尽きかけていました。町は当初、債務超過に至った要因は、コロナ禍で売上が落ち込んだことと分析。また、新嵐山スカイパーク存続のため、現在の経営手法や財務状況、将来性などを総合的に分析し、第三セクターによる運営は限界と判断し、令和7年3月末に会社を清算する方針を決定しました。

今回提案した補正予算案は、過年度分の委託料と売上実績の乖離分を支援金として補助し、資金繰りを安定させようとしたものな改善にならない」「これ以上税金を投入すべきではない」「計画から改善が見込めない」など、反対意見が述べられました。補正予算が否決となったことに伴い、新嵐山スカイパークは10月10日を以て営業を終了し、休業となります。

町としては、町民の代表である議会の判断を重く受け止めるとともに、新嵐山スカイパークの突然の休業により、町民の皆様、利用者の皆様、関係者の皆様に多大なご迷惑とご心配をおかけすることとなり、深くお詫び申し上げます。

### 存続を求める声は多い

町議会の議決後、ホットボイスなどでは町の財産である新嵐山スカイパークの存続を訴える声が多く届いています。

また、町では令和4年12月から令和5年5月までに、町民主体の「新嵐山スカイパーク自分ごと化会議」を計4回開催。無作為に抽出された町民の中から参加希望のあった方を委員とし、新嵐山スカイパークの課題について「自分ごと」として解決策を検討し、委員から町長へ提案書が提出されています。

「新嵐山スカイパークのコンセプトやそれぞれの機能ごとのターゲットを明確にすることで、誰もが楽しめる場所を目指す」「利用目的の多様化を進めることで町内・町外ともに利用者を増やす」など、5つの事項について提案がありました。存続を求める意見やいただいた提案を含めて、在り方を検討してまいります。

### 今後も協議を継続いたします

新嵐山スカイパークは休業しますが、新嵐山そのものの魅力や資源をなくそうと決めたものではありません。

で、令和6年度末まで会社を存続させ、新嵐山スカイパークの営業を継続した上で、令和7年度以降、第3セクター以外の新たな経営体に運営を委ねる可能性を模索しようとするものでした。その後、町は、8月21日の調査特別委員会において、債務超過や資金繰りひっ迫の状況に陥った要因について、委託料の乖離や新型コロナウイルスの影響のみではなく、経営状況に対する町の見通しの甘さや会社としての経営責任があることを認め、9月21日の本会議では役員の処分や、今後の経営の見通しなどから清算時期を令和6年3月末に早め、今年度内に新たな担い手を模索していきたい意向も表明しました。

### 支援金否決「経営改善見込めない」

また、今回支援できなかった場合、同社は事実上倒産し、従業員への給与や仕入れ先への支払い、金融機関への借入金の返済ができなくなる可能性が高いことなどの影響を説明しましたが、補正予算案は否決となりました。

議員からは「半世紀に亘り町民に親しまれてきた。憩いの場から稼げる施設への改革は評価。支援金は今後への先行投資」「町の見通しの甘さや町民への周知不足は強く指摘するが、町の経済にも多大な影響があり、長期的な視点が必要」などの賛成意見もありましたが、「新嵐山から町民の心が離れている。本来あるべき姿を数年間成してこれなかったことの現れ。この支援金では本質的

10月2日には、町長に対して町議会新嵐山スカイパーク経営改革調査特別委員会から「新たな新嵐山スカイパークのあり方」について、廃止目的ではなく、存続に向けて検討していく旨の提言がありました。

今後も町民の皆様や議会と意見交換や協議の場を設け、今後の在り方について検討してまいります。

### 経過説明会を開催します

皆様に多大なるご迷惑とご心配をおかけしました今回の件の経過について、直接説明する場を設けるため、めむろ未来ミーティングを開催します。

10月22日(日)は昼と夜の2回、24日(火)は夜に開催します。限られた時間ではありますが、ご説明させていただきたいと思っておりますので、ご参加いただけますようお願いいたします。

めむろ未来ミーティング 開催します	
テーマ	新嵐山スカイパークについて
開催日	10月22日(日) ①13時30分～14時30分 ②18時～19時 10月24日(火) 18時30分～19時30分
場所	芽室町中央公民館 2階 講堂
事前申し込みは不要です。 お時間までに直接会場にお越しください。 ※当日の様子はオンラインでも配信予定です。	